

企業情報学部入試説明会資料

2019年7月20日

企業情報学部入試委員会

はじめに

公立大学である長野大学が実施する入学試験の種類には、総合型選抜（AO入試）、学校推薦型選抜（推薦入試）、一般選抜入試（前期・公立大学中期）、帰国子女・社会人シニア特別入試、外国人留学生入試などがあります。それぞれの入試の内容については「入学者選抜要項」に詳しく説明が載っていますので、そちらを事前によく読んでおいてください。

また、2019（平成31）年度入試と2020（令和2）年度入試の違いの一覧が「入学者選抜要項」4ページに記載されています。合わせてご確認ください。

■入試全般にかかわることについて

企業情報学部のアドミッションポリシー

アドミッションポリシーとは、簡単に言えば、大学や学部が求める学生像のことです。「入学者選抜要項」の2ページには企業情報学部のアドミッションポリシーが載っています。そこに書かれているように、企業情報学部は「現代の社会や企業において生まれるさまざまな問題に取り組み、解決するために要求される能力を身に付けた魅力的な職業人になりたいと思う人」を求めています。その他、企業情報学部の学生に求められる素養や能力について書かれていますので、しっかり読んで理解しておいてください。

なお、総合型選抜（AO入試）や学校推薦型選抜（推薦入試）などの入試区分別のアドミッションポリシーも各入試の説明ページの最初に載っていますので、自分が受験したいと考えている入試形式のアドミッションポリシーにも目を通しておいてください。

また、企業情報学部がどのような学部で、どのようなことが学べるかという基本的な情報も大学のパンフレットやウェブページで事前に十分に調べておいてください。

■総合型選抜（AO入試）

1. 総合型選抜（AO入試）の特徴と大まかな手順

（1）総合型選抜（AO入試）とは、学力試験などの入試とは別に、大学や学部のアドミッションポリシーに適合する志願者を、独自の選考方法で選抜する入試のことです。企業情報学部の総合型選抜（AO入試）は専願です。「入学者選抜要項」6ページに記載されている総合型選抜（AO入試）のアドミッションポリシーをよく読んでください。総合型選抜（AO入試）では、学部の「専門分野を学ぶ強い意欲」を持ち、「入学前学習に取り組む」ことが重要です。そして、「文化・学術活動や地域社会活動、スポーツ活動などについて実績」がある人を求めています。アドミッションポリシーの下に分野別の「求める具体的な人間像」が書かれていますので、こちらも目を通しておいてください。

（2）企業情報学部の総合型選抜（AO入試）募集定員は15名です。試験の日程や試験会場等については、「入学者選抜要項」6ページで確認してください。

（3）総合型選抜（AO入試）は1次選考と2次選考の2段階選抜方式で実施します。

1 次選考は小論文試験であり、その判定は小論文試験の評価点と「業績点」の加点を合わせた総合評価で行います。1 次選考において「学習・活動計画書」自体に評価点はつきません。しかしながら、「学習・活動計画書」の内容は、2 次選考における合否判定を大きく左右しますので十分な時間をかけて作成してください。「学習・活動計画書」の詳細は後述します。

(4) 1 次選考の合格者に対して、2 次選考として、提出書類の「学習・活動計画書」に基づいて面接試験を行います。面接時間は 30 分です。

(5) 総合型選抜 (AO 入試) にはスポーツ特別枠があります (4 名)。スポーツ特別枠で出願した人にはスポーツに関連したプレゼンテーション (自己アピール) を最初に行ってもらいます。そのプレゼンテーションを受けた上で「学習・活動計画書」に基づいて質問します。

(6) 総合型選抜 (AO 入試) は合格発表で終わるものではありません。合格者には入学前学習が課されます。その入学前学習の成果として、それぞれ自分で選んだテーマに基づく課題レポートを提出していただきます。「合格後に入学前学習に取り組む」ところが、他の入試方式と違う総合型選抜 (AO 入試) のユニークな特徴です。なお、この課題レポートが一定の水準に達していない場合には再提出を求めることがあります。

2. 学習・活動計画書について

(1) 学習・活動計画書は、他の入試形態にはない総合型選抜 (AO 入試) 独自のものです。面接試験ではこの計画書に基づいて質問しますので、この出来ばえが総合型選抜 (AO 入試) での合否を大きく左右します。当然のことながら、誰かに代筆してもらったり、ネット等から書き写したりせず、本人が自分の言葉で書かなくてはなりません。記入する際には、まず下書きを作り何度も見直し、十分に推敲 (すいこう) してから清書することをお勧めします。

(2) 用紙はオープンキャンパスの入試説明会で配ります。また大学のウェブサイトからダウンロードすることもできます (* 参照)。記入は手書きでもワープロでもかまいません。

* 大学公式サイト HP → 入試情報 → 最新の入試情報 (総合型選抜 (AO 入試) 情報の項目)

用紙はオープンキャンパスの入試説明会で配ります。またインターネット上で本学のホームページからダウンロードできるようにします (* 参照)。マス目のあるこの用紙に手書きするか、あるいはこの用紙と同じ一行字数と行数に書式設定した上で、ワードなどに打ち込んでプリントアウトしても構いません。手書きの場合には、先に別の紙で下書きしてから用紙に清書することをお勧めします。

* 大学公式サイト HP → 入試情報 → 令和 2 年度入試 (総合型選抜 (AO 入試) 情報の項目)

(3) 以下に各項目の目安となる字数、記入すべき内容の例を示しますので、参考にしてください。

①志望理由 (300～360 字)

「志望理由」欄には、本学の企業情報学部で学びたいと思った理由を書いてください。企業情報学部の特色や学びを理解しており、自分が学びたいこと、関心のある事柄がそれと合致していることを説明すると良いでしょう。さらに、情報・経営・デザインの中で主に学びたい分野や、オープンキャンパスで関心を持ったこと、受講を考えている特別コース（特になければ記入しなくても構いません）について記入してください。

②高校で力を入れて実践してきたこと (300～360 字)

「高校で力を入れて実践してきたこと」欄には、勉学や課外活動、文化活動の賞の受賞やスポーツでの各種大会等の実績を記入してください。また、高校時代に自分が得意としたことや関心のある事柄をできるだけ具体的に記述してください。

③長野大学で学びたいこと、および将来の目標 (300～360 字)

「長野大学で学びたいこと、および将来の目標」欄には、長野大学在学中に身に付けたい能力や知識、将来就きたい職業、在学中に取得したい資格、なりたい自分の将来像などをできるだけ具体的に記述してください。

④入学までの学習・活動計画 (500～560 字)

1)入学前学習・活動のテーマの明示

必ず入学前学習・活動のテーマを決めてください。このテーマは広く漠然としたものではなく、できるだけ具体的で絞り込んだものにしてください。

<テーマ例>

(情報分野) ライトユーザーが求めるゲームの機能と性能

(経営分野) 中小企業がヒット商品を生み出す理由

(デザイン分野) ゆるキャラから学ぶ、人々に愛されるデザインの特徴

2)学習・活動の内容 (テーマに関して学びたいこと、知りたいこと、調べたいこと)

1)で定めたテーマについて、調べたい本や資料などがあれば挙げておくとともに、そのテーマを選んだ理由、きっかけも示しておく良いでしょう。さらに、合格後入学までに、いつまでにどのような学習・活動をするのかについて、大まかなスケジュールを記入しておいてください。

3. 面接試験および合否判定について

(1) 面接時間は一人 30 分程度です。最初に自分が書いた「学習・活動計画書」についてプレゼンテーション (自己アピール) を 5 分間行ってもらいますので、事前によく準備をしておいてください。「学習・活動計画書」のコピーを提出前に取っておいて、面接のときに持参してください。自己アピールは、抽象的に表現するのではなく、自分の体験をも

とにできるだけ具体的に表現すると良いでしょう。

(2) 面接では、提出された「学習・活動計画書」の内容に基づいて質問します。面接教員からの質問に的確に応えられるよう準備して臨んでください。

(3) 合否の判定は、小論文、面接、業績書を総合的に評価して決定します。

4. 合格後の入学前学習について

(1) 合格発表後、各合格者に対して入学前学習の担当教員が割り当てられます。その担当教員と相談しながら、学習・活動計画書の④に基づいて入学前学習プログラムを行います。入学前学習プログラムは「入学前学習レポート」の完成と提出により終了します。

(2) 入学前学習レポートを提出しなかった場合は入学許可を取り消されることもあります。入学前学習レポートは必ず提出してください。なお、入学前学習レポートが一定の水準に達していない場合には再提出を求めることがあります。

■学校推薦型選抜（推薦入試）

企業情報学部の学校推薦型選抜（推薦入試）は専願です。調査書の評定平均値に関わらず、高等学校長からの推薦がある方が受験可能です。学校推薦型選抜（推薦入試）のアドミッションポリシー、試験日、試験会場等については「入学者選抜要項」の7ページを参照してください。試験は2日間にわたって行われ、1次選考は国語の試験、2次選考は面接試験です。国語の試験と面接試験については「入学者選抜要項」7ページに「評価のポイント」が載っていますので、事前によく読んでおいてください。

企業情報学部の学校推薦型選抜（推薦入試）の定員は23名です。ただしこの定員の中には二つの特別枠が含まれています。上田地域定住自立圏域特別枠（8名）と長野県高校在籍者特別枠（7名）です。上田地域定住自立圏域の範囲については「入学者選抜要項」の7ページを参照してください。

面接では、大学・学部の志望動機、これまで高校で取り組んできたこと、大学で学びたいことや将来の希望、その他関心のある事柄などについて質問します。面接時間は約20分です。面接の評価では、志望動機や大学で学びたいことが最も重視されます。大学のパンフレットをよく読み、入学後に学習したいことや、やってみたいことをまとめておいて、自分の考えを自分の言葉で、体験を交えてはっきり伝えることが大切です。パンフレットの文章を暗記して話そうとすると、かえって失敗しやすいので注意してください。

■その他の入試

・一般選抜、帰国子女特別入試、社会人シニア特別入試、外国人留学生入試、編入学試験については「入学者選抜要項」の当該ページを参照してください。